

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岩手保健医療大学
設置者名	学校法人 二戸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	課程	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
				全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
看護学部	看護学科	夜・通信	新	0	9	21	30	13	
		夜・通信	旧		5	89	94	13	
(備考) 新課程：2022年度入学生以降 旧課程：2021年度入学生以前									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページ「シラバス」 新課程 (https://www.iwate-uhms.ac.jp/department/curriculum.html) 旧課程 (https://www.iwate-uhms.ac.jp/department/curriculum2021.html)
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩手保健医療大学
設置者名	学校法人 二戸学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページ「役員一覧」 (https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/yakuin2022.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立大学大学院客員教授	令和2年1月 ～ 令和5年1月	経営計画の策定
非常勤	学校法人特別顧問	令和2年1月 ～ 令和5年1月	経営計画の策定
非常勤	医療法人理事長（医師）	令和2年1月 ～ 令和5年1月	経営計画の策定
非常勤	経済評論家	令和2年1月 ～ 令和5年1月	経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手保健医療大学
設置者名	学校法人 二戸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>看護師免許・保健師免許・養護教諭免許取得に必要な科目について、講義・実習科目を編成しており、その科目ごとに到達目標や成績評価方法をシラバスに記載している。シラバスの作成は、あらかじめ様式を定め、教員に対して1月中に依頼し、教学委員会の了承を経て、当該年度の4月1日にホームページへ公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本学ホームページ「シラバス」 新課程 (https://www.iwate-uhms.ac.jp/department/curriculum.html) 旧課程 (https://www.iwate-uhms.ac.jp/department/curriculum2021.html)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>開設科目ごとに、定期試験・課題レポート・小テスト・実習記録等で、その科目に即して評価を行っている。</p> <p>(新課程) 成績評価の「秀」区分は90～100点、「優」区分は80～89点、「良」区分は70～79点、「可」区分は60～69点、「不可」区分は59点以下である。なお、「秀」「優」「良」「可」は合格、「不可」は不合格としている。</p> <p>(旧課程) 成績評価の「A」区分は80～100点、「B」区分は70～79点、「C」区分は60～69点、「D」区分は59点以下である。なお、「A」「B」「C」は合格、「D」は不合格としている。</p>	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

授業科目ごとに、定期試験・課題レポート・小テスト・実習記録等で、その科目に即した評価方法により、点数（100点満点）に換算して評価し、修得した各科目の点数を足して科目数で除した平均点により各学生の順位を把握し、成績不振の学生には、個別面談を行っている。

(新課程)

開設科目の成績評価方法は、シラバスに記載し、ホームページで公表している。成績評価の「秀」区分は90～100点、「優」区分は80～89点、「良」区分は70～79点、「可」区分は60～69点、「不可」区分は59点以下であり、「秀」「優」「良」「可」は合格、「不可」は不合格としている。なお、成績評価の区分は学生便覧に記載し、ホームページでも公表している。

(旧課程)

開設科目の成績評価方法は、シラバスに記載し、ホームページで公表している。成績評価の「A」区分は80～100点、「B」区分は70～79点、「C」区分は60～69点、「D」区分は59点以下であり、「A」「B」「C」は合格、「D」は不合格としている。なお、成績評価の区分は学生便覧に記載し、ホームページでも公表している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学生便覧、本学ホームページ「学生便覧」

(https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/handbook_2022.pdf)

本学ホームページ「シラバス」

新課程 (<https://www.iwate-uhms.ac.jp/department/curriculum.html>)

旧課程 (<https://www.iwate-uhms.ac.jp/department/curriculum2021.html>)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学の教育理念に基づき、次の能力を有していることを重視し、所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定し学位を授与することについて基本的な方針(ディプロマ・ポリシー)を定め、学生便覧・ホームページで公表している。

- 1) 人間力
周囲の人々とコミュニケーションを通して理解し合い、共感し合い、協働することができる。
- 2) ケア・スピリット
相手の人生にとっての最善を目指して、自ら進んでケアに向かう姿勢を発揮できる。
- 3) 人間の実践的理解
ケアの相手の意向・気持ち・状況把握を共感的に理解しようと努めることができる。
- 4) 専門的知識・技術とその臨床実践
看護ケアに必要なコアとなる専門的知識・技術を備え、臨床の場での具体的な対応に活かすことができる。
- 5) 多職種連携・チームワーク
チームメンバーや多職種のケア従事者たちと連携・協働することができる。
- 6) アドボカシー
ケアの相手側に立って、そのよい人生のために支援し、必要に応じて代弁できる。

(新課程)

本学を卒業するためには、本学に4年以上在籍し、所定の授業科目を履修し、以下に定める124単位(看護師国家試験受験資格)を修得する必要があることを学生便覧、ホームページで公表している。

- ・基礎科目 23 単位以上 (必修科目 21 単位、選択科目 2 単位以上)
- ・専門基礎科目 25 単位以上 (必修科目 24 単位、選択科目 1 単位以上)
- ・専門科目 (基盤の理解、実践の理解) 61 単位 (必修科目 61 単位)
- ・専門科目 (公衆衛生看護の理解、看護の統合の理解)
15 単位以上 (必修科目 12 単位、選択科目 3 単位以上)

(旧課程)

本学を卒業するためには、本学に4年以上在籍し、所定の授業科目を履修し、以下に定める125単位(看護師国家試験受験資格)を修得する必要があることを学生便覧、ホームページで公表している。

- ・基礎科目 23 単位以上 (必修科目 22 単位、選択科目 1 単位以上)
- ・専門基礎科目 26 単位以上 (必修科目 25 単位、選択科目 1 単位以上)
- ・専門科目 53 単位 (必修科目 53 単位)
- ・総合科目 23 単位以上 (必修科目 20 単位、選択科目 3 単位以上)

なお、卒業の判定は、教授会において行う。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学生便覧、本学ホームページ「学生便覧」
(https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/handbook_2022.pdf)
本学ホームページ「ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)」
(<https://www.iwate-uhms.ac.jp/department/graduate.html#diploma-policy>)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岩手保健医療大学
設置者名	学校法人 二戸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページ https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/r03_taishaku.pdf
収支計算書又は損益計算書	本学ホームページ http://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/r01_jigyuu_keisan.pdf http://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/r02_jigyuu_keisan.pdf http://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/r03_jigyuu_keisan.pdf
財産目録	本学ホームページ https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/ds_zaisan_r03.pdf
事業報告書	本学ホームページ https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/j_houkoku_r03.pdf
監事による監査報告(書)	本学ホームページ https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/r03_kanji_kansa.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページ「自己点検・評価報告書」 (https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/tenken-hyouka_r03.pdf)

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部
教育研究上の目的（公表方法：学生便覧、大学案内、本学ホームページ 「建学の精神」（ http://www.iwate-uhms.ac.jp/outline/spirit.html ） 「学生便覧」（ https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/handbook_2022.pdf ）、 「大学案内」（ https://www.d-pam.com/iwate-uhms/2210096_D/index.html#target/page_no=1 ）
（概要） 地域に開かれた、人々と共に在る大学として、将来を見すえた創造的・知的構想力を備えた人間性豊かな社会人であるとともに、人々の生活と健康を高めようとするケア・スピリットを持った保健医療人として、社会に貢献できる専門職業人を育成することを目指して、世界に開かれた視点をもって実践・研究・教育にかかわる活動を進めます。
卒業の認定に関する方針（公表方法：学生便覧、大学案内、本学ホームページ 「ディプロマ・ポリシー」（ http://www.iwate-uhms.ac.jp/outline/spirit.html#diploma-policy ）、 「学生便覧」（ https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/handbook_2022.pdf ）、 「大学案内」（ https://www.d-pam.com/iwate-uhms/2210096_D/index.html#target/page_no=1 ）
（概要） 本学では、基礎力をもった社会人、ケア・スピリット、看護専門職者としての基本的姿勢、看護の基礎的・専門的知識と技術、社会への関心と地域貢献、生涯学習・自己研鑽の能力を有していることを重視し、所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定します。 （新課程） 本学を卒業するためには、本学に4年以上在籍し、所定の授業科目を履修し、必修科目118単位（基礎科目21単位、専門基礎科目24単位、専門科目（基盤の理解、実践の理解）61単位、専門科目（公衆衛生看護の理解、看護の統合の理解）12単位）と選択科目6単位以上（基礎科目2単位以上、専門基礎科目1単位以上、専門科目（公衆衛生看護の理解、看護の統合の理解）3単位以上）の看護師国家試験受験資格を修得する必要があります。 （旧課程） 本学を卒業するためには、本学に4年以上在籍し、所定の授業科目を履修し、必修科目120単位（基礎科目22単位、専門基礎科目25単位、専門科目53単位、統合科目20単位）と選択科目5単位以上（基礎科目1単位以上、専門基礎科目1単位以上、統合科目3単位以上）の看護師国家試験受験資格を修得する必要があります。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：学生便覧、大学案内、本学ホームページ「カリキュラム・ポリシー」（<https://www.iwate-uhms.ac.jp/outline/spirit.html#curriculum-policy>）、「学生便覧」（https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/handbook_2022.pdf）、「シラバス」（<https://www.iwate-uhms.ac.jp/department/curriculum.html>）「大学案内」（https://www.d-pam.com/iwate-uhms/2210096_D/index.html#target/page_no=1））

（概要）

（新課程）

本学は教育理念として「人々の生活と健康を高めるために、豊かな人間性・社会性を培い、ケア・スピリットをもって、科学的根拠に基づく看護の専門的知識・技術を実践に活かせる基礎的能力を養い、多職種と協働しつつ、地域社会の保健医療福祉に貢献できる看護実践者を育成する」を掲げている。

豊かな人間性とケア・スピリット、および科学的知識・技術を備えた看護専門職を育成するために、『基礎科目』『専門基礎科目』『専門科目』の3つに大別している。

- 1) 基礎科目は基礎力をもった社会人としての教養と、コミュニケーション能力に重点を置き、多様な考え方や文化的多様性をもつ人々の特徴を理解するために、「思考の基礎と方法」「自己・他者の理解」「生活・社会の理解」の3科目群を設置する。
- 2) 専門基礎科目は看護の対象理解として、科学的な根拠に重点を置き、健康（健康課題も含む）の理解のために、「健康の理解」「保健と環境の理解」の2科目群を設置する。
- 3) 専門科目群は科学的根拠に基づく看護のコアとなる知識と技術、ケア・スピリットに重点を置き、看護の理解のために、「基盤の理解」「実践の理解」を、さらに「看護の統合理解」として、多職種連携・協働や地域社会、看護専門職者としての成長に重点を置き、「公衆衛生看護の理解」「看護の統合の理解」のあわせて4科目群を設置する。

（旧課程）

本学の教育目標を達成するために、次の方針に基づく教育課程を編成している。

- 1) 基礎科目は、総合人間科学として、人間力や看護する対象の全人的・共感的な理解、コミュニケーション能力に重点を置き、人間理解のために「思考の基礎と方法」「自己・他社の理解」「生活・社会の理解」の3科目群を設置する。
- 2) 専門基礎科目は、看護とその対象理解ベーシックとして、パートナーシップや科学的な根拠に重点を置き、健康（健康課題も含む）の理解のために、「自然・環境の理解」「健康の理解」「保健と環境」の3科目群を設置する。
- 3) 専門科目は、科学的根拠に基づく看護のコアとなる知識と技術、ケア・スピリットに重点を置き、看護の理解のために「基盤の理解」「実践の理解」の2科目群を設置する。
- 4) 統合科目は、看護の統合的理解として、多職種連携・協働や地域社会、看護専門職員者としての成長に重点を置き、「在宅看護の理解」「地域・公衆衛生看護の理解」「看護の総合の理解」の3科目群を設置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学案内、学生募集要項、本学ホームページ「アドミッション・ポリシー」（<http://www.iwate-uhms.ac.jp/outline/spirit.html#admission-policy>）、「大学案内」（https://www.d-pam.com/iwate-uhms/2210096_D/index.html#target/page_no=1））

（概要）

- ・看護師または保健師として地域社会に貢献したいと思っている人
- ・人と関わるのが苦ではなく、周囲の人と協力しあって生きたいと思う人
- ・人のいのちや尊厳を大切にし、他者への思いやりのある人
- ・大学で学ぶために必要な基礎知識および自ら進んで学ぶ力を持っている人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページ「組織図」

（https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/soshiki_202204.pdf）

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
看護学部	1人	—					人
	—	9人	5人	2人	9人	9人	34人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		34人					34人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：「教育・研究年報」 (https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/nenpou2021.pdf)					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部	80人	54人	68%	320人	288人	90%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	80人	54人	68%	320人	288人	90%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部	66人 (100%)	1人 (2%)	65人 (98%)	0人 (0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	66人 (100%)	1人 (2%)	65人 (98%)	0人 (0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>看護師免許・保健師免許・養護教諭免許取得に必要な科目について、講義・実習科目を編成しており、その科目ごとに到達目標や成績評価方法をシラバスに記載している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
(新課程)				
開設科目ごとに定期試験・課題レポート・小テスト・実習記録等で、その科目に即して評価を行っている。成績評価の「秀」区分は90～100点、「優」区分は80～89点、「良」区分は70～79点、「可」区分は60～69点、「不可」区分は59点以下であり、「秀」「優」「良」「可」は合格、「不可」は不合格としている。				
なお、卒業要件については、下記事項を学生便覧に記載している。				
[本学では、基礎力をもった社会人、ケア・スピリット、看護専門職者としての基本的姿勢、看護の基礎的・専門的知識と技術、社会への関心と地域貢献、生涯学習・自己研鑽の能力を有していることを重視し、所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定します。				
本学を卒業するためには、本学に4年以上在籍し、所定の授業科目を履修し、必修科目118単位(基礎科目21単位、専門基礎科目24単位、専門科目(基盤の理解、実践の理解)61単位、専門科目(公衆衛生看護の理解、看護の統合の理解)12単位)と選択科目6単位以上(基礎科目2単位以上、専門基礎科目1単位以上、専門科目(公衆衛生看護の理解、看護の統合の理解)3単位以上)の看護師国家試験受験資格を修得する必要があります。]				
(旧課程)				
開設科目ごとに、定期試験・課題レポート・小テスト・実習記録等で、その科目に即して評価を行っている。成績評価の「A」区分は80～100点、「B」区分は70～79点、「C」区分は60～69点、「D」区分は59点以下であり、「A」「B」「C」は合格、「D」は不合格としている。				
なお、卒業要件については、下記事項を学生便覧に記載している。				
[本学では、1)人間力、2)ケア・スピリット、3)人間の実践的理解、4)専門的知識・技術とその臨床実践、5)多職種連携・チームワーク、6)アドボカシーの能力を有していることを重視し、所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定します。				
本学を卒業するためには、本学に4年以上在籍し、所定の授業科目を履修し、必修科目120単位(基礎科目22単位、専門基礎科目25単位、専門科目53単位、統合科目20単位)と選択科目5単位以上(基礎科目1単位以上、専門基礎科目1単位以上、統合科目3単位以上)の看護師国家試験受験資格を修得する必要があります。]				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	新課程：124単位	有・無	単位
		旧課程：125単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：学生便覧、大学案内、本学ホームページ 「施設・設備紹介」(http://www.iwate-uhms.ac.jp/campus-life/facilities.html)、 「学生便覧」(https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/handbook_2022.pdf)、 「大学案内」(https://www.d-pam.com/iwate-uhms/2210096_D/index.html#target/page_no=1)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	900,000 円	250,000 円	450,000 円	その他内訳 施設設備費：250,000 円 実験実習費：200,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 「アドバイザー制度」を設けて、学修上の問題に対する支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生キャリア支援室を配置し、学生を支援するとともに、学生の就職に関する意向の把握を行い、就職活動や就職先の相談等に応じている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 各学年にアドバイザー等を配置し、複数の教員が学生の生活上の悩みなどに対応している。 また、非常勤の心理カウンセラーを配置し学生相談を実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページ「自己点検・評価報告書」 (https://www.iwate-uhms.ac.jp/disclosure/data/tenken-hyouka_r03.pdf)
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F103310100782
学校名	岩手保健医療大学
設置者名	学校法人 二戸学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		49人	49人	53人
内 訳	第Ⅰ区分	20人	20人	
	第Ⅱ区分	15人	17人	
	第Ⅲ区分	14人	12人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				53人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	前半期	後半期	

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	2人
3月以上の停学	0人
年間計	2人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。